

Check!!
Exciting!!

\ さあキックオフ! /

盛り上がるプレーはコレだ!!

「おおっ!」「やばい!」「すごい!」と大興奮。走る、当たる、蹴る、投げる……。
試合が動き出す激アツのプレーを知っているとラグビー観戦が100倍楽しくなる。

そんなプレーと“見どころポイント”を伝授。覚えておこう!

Yes!



トライ



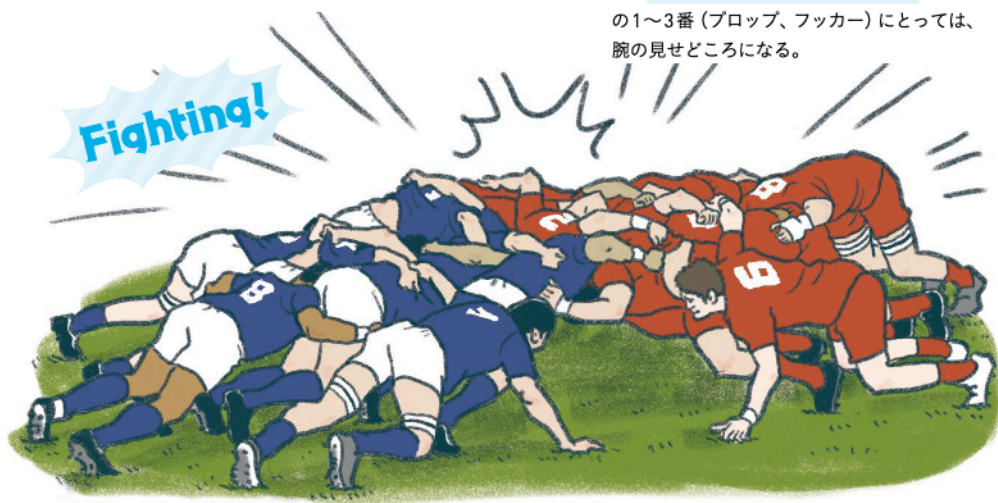
ゴールラインを越えてボールを地面につければ、トライ成功。得点としては最大の5点が入る、ラグビーで一番盛り上がるポイントだ。快速ランナーが相手を振り切って飛び込むのか、巨漢の男たちがゴリゴリと押し込んで決めるのか。感情が爆発する瞬間だ。

スクラム



8人が束になって組み合うスクラム。押して相手の反則を誘発するか、はたまた崩されて相手ボールになるのか。これで展開が一変する。要は、力強く押したほうの勝ち。最前線の1~3番(プロップ、フッカー)にとっては、腕の見せどころになる。

Fighting!





Oh!



ラインアウト成功！ そのとき何が起ころ!?

ゴール近くでのラインアウトでは、攻撃側がキャッチすると“ドライブングモール”と呼ばれるプレーが頻出する。大男がひと塊となり、右に左に動きながら相手守備陣の圧力をかわしてグイグイと押し込む。一つのトライを巡る、押し合いの攻防にも注目だ。

ラインアウト



外に出たボールを中に入れて、プレーを再開するために行われるラインアウト。主にLO（ロック）がジャンパーを務める。2m級の選手が持ち上げられてボールをキャッチする様は、初見の人なら度肝を抜かれるはず。

ガシッ!

タックル



ボールをもって猛進してきた相手の体に、強烈なタックルが“突き刺さる”。100kg超の選手が吹き飛ぶこともザラにある。その衝撃は、すさまじい。トライが攻撃での最大の見どころなら、タックルこそが守備の見せ場だ。





Go!

バックス展開



選手が密集した地点からパスが展開されて、ボールは後方で陣容を整えるバックスと呼ばれる選手たちのもとへ。トライの好機が近づく瞬間だ。スピード自慢の選手たちがパスをつなぎながら小刻みなステップを踏み、あるいは体の強さを生かして突進。相手の守備網を切り裂く。

インターセプト



相手のパスを読んでそのボールを奪うインターセプトに成功すれば、一気にトライチャンス! ピンチが一転、チャンスに移り変わる。一方で、守備に穴を生むかもしれないリスクなプレーでもあり、イチかバチかの一瞬だ。



パシッ!

いただき!



ジャッカル



2019年のラグビーワールドカップで一躍脚光を浴びたのが「ジャッカル」。ボールを持っている選手が倒れて両チーム入り交じる密集の中で、一瞬のスキを突いて相手のボールを奪い取る、あるいは反則を誘発するプレーだ。これでピンチを脱することが可能。



オフロードパス



タックルされて倒れそうになりながらも、屈強な身体能力と抜群のバランス感覚で味方にボールをつなぐ。これがオフロードパスだ。守備側は、「捕まえた!」と思いきやパスをつながれると反応が遅れるもの。これを機に守備網が崩れてトライにつながることも多い。



キックパス



前にボールを投げられないラグビーも、前にボールを蹴ることはできる。味方を走らせて、そこにキックでパスを通すこのプレーも、一気にトライまで持ち込むことのできる状況打開の一手だ。キックの名手は常にこれを狙っている。



ゴールキック



トライを決めた後に与えられるコンバージョンキック (2点)、それに相手が重い反則をした際に選択できるペナルティゴール (3点) を指す。難易度の高い、角度のない地点からのキックはそれだけ価値も大きい。また、試合の最終盤で勝敗を分ける一蹴りになる場合も。感情を発露させる時だ。